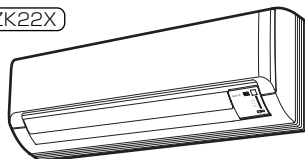
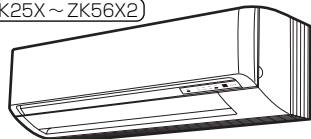
取扱説明書
ルームエアコン

SANYO

形名	室内ユニット	室外ユニット
	SAP-ZK22X	SAP-CZK22X
	SAP-ZK25X	SAP-CZK25X
	SAP-ZK28X	SAP-CZK28X
	SAP-ZK40X	SAP-CZK40X
	SAP-ZK45X2	SAP-CZK45X2
	SAP-ZK56X2	SAP-CZK56X2

このたびは、ルームエアコンをお買いあげいただき、
ありがとうございました。ご使用の前に必ず
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保管し、
必要なときにお役立てください。

もくじ　CONTENTS

家庭用エアコンには最大でCO_2（温暖化ガス）3,600kg（マルチシステムの場合は10,500kg）に相当するフロン類が封入されています。地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄等にあたってはフロン類の回収が必要です。

［冷媒の「見える化」表示について］
この表示は、家庭用エアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることを、ご認識いただくための表示です。エアコンの取りはずし時はフロン類の回収が必要です。
<廃棄時には家電リサイクル法の制度に基づき適正な引き渡しをしていただければ、確実にフロン類の適正処理がなされます。>

省エネで　守る環境　豊かな暮らし

このエアコンは地球のオゾン層を破壊しない、冷媒R410Aを使用しています。

安全上のご注意

安全に関する重要な内容です。よくお読みいただき、必ずお守りください。

⚠ 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠ 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う危険または物的損害に結び付く可能性があるもの。

■お守りいただく内容の種類を、つぎの絵表示で区分し、説明しています。

してはいけない「禁止」事項		一般的な禁止		ぬれ手禁止		水ぬれ禁止
していただく「実施」事項		必ず行う		電源プラグを抜く		アースを接続する

⚠ 警告

エアコンが冷えない、暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因のひとつとして考えられますので、お買いあげの販売店にご相談ください。冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理内容をサービス技術者に確認してください。

エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有害な生成物が発生する原因になります。

吹出口・吸込口に指や棒などを入れない

内部でファンが高速回転しているため、ケガの原因になります。とくに小さなお子さまにはご注意ください。

電源プラグの差し込みは確実に

電源プラグはホコリが付着していないか確認し、がたつきのないように刃の根元まで確実に差し込んでください。ホコリが付着したり、接続が不完全な場合は感電・火災の原因になります。

●いたんだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグを抜いて停止をしない

感電・火災の原因になります。

電源コードは、途中での接続・延長コードの使用・タコ足配線をしない

電源プラグは、必ずエアコン専用の電源コンセントに直接差し込んでください。感電・発熱・火災の原因になります。

電源コードを破損したり加工したりしない

電源コードは束ねたり、引っ張ったり、重いものを載せたり、加熱したり、加工したりしないでください。電源コードが破損する原因になります。
いたんだまま使用すると感電・発熱・火災の原因になります。

異常時（こげ臭いなど）は運転を停止して電源プラグを抜く

異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。お買いあげの販売店にご相談ください。

自分で修理・移動・再設置・廃棄はしない

不備があると感電・火災・水漏れなどの原因になります。廃棄時も危険ですので、自分で行わないでください。

長時間冷風をからだに直接当てたり、冷やしすぎない

体調悪化・健康障害の原因になります。

吹出口の１m以内にスプレー缶などを置かない

温風によりスプレー缶などの圧力が上がり、爆発するおそれがあります。
絶対にやめてください。

⚠注意

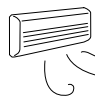
ほかの目的に使用しない

このルームエアコンは居室用です。精密機器・食品・動植物・美術品の保存など特殊用途には絶対に、使用しないでください。
思わぬトラブルの原因になることがあります。

ユニットのアルミフィンにさわらない

ケガの原因になります。

動植物には直接風を当てない

動植物に悪影響をおよぼすことがあります。

室内ユニット内部の洗浄は必ず販売店にご相談ください

誤った方法で洗浄すると、樹脂部分が破損したり、水漏れなどの故障や感電の原因になることがあります。

エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わない

燃焼器具の不完全燃焼による、一酸化炭素中毒などの原因になることがあります。

電源コードを引っ張ってプラグを抜かない

必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張ると芯線の一部が断線して、発熱・発火の原因になることがあります。

燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気をする

換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。

長期間使用しない場合、安全のため電源プラグを抜く

電源プラグにホコリがたまって、発熱・発火の原因になることがあります。

エアコンを水洗いしたり、花びんなど水の入った容器を載せない

感電・発火の原因になることがあります。

ぬれた手でスイッチを操作しない

感電の原因になることがあります。

ユニットに乗らない・ものを載せない

落下・転倒などにより、ケガの原因になることがあります。

エアコンを掃除するときは運転を停止し、電源プラグを抜く

内部でファンが高速回転しているため、ケガの原因になることがありますのでファン停止を確認してください。

室内ユニットの下に、ほかの電気製品などを置かない

水滴が落下することがあり、汚損・故障の原因になることがあります。

据付台がいたんだまま放置しない

室外ユニットの落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。

据え付け上の注意事項

⚠警告

冷媒R410A以外の冷媒は絶対に使用しない

機械の故障と同時に、冷凍サイクルの破裂などの重大事故になります。

自分で据え付けはしない

不備があると故障、水漏れや感電、火災の原因になります。
お買いあげの販売店または専門業者にご依頼ください。

指定以外の電源を使わない

故障・火災などの原因になります。

アース（接地）を確実に行う

アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。
アース（接地）が不確実な場合は、故障や漏電のときに感電の原因になります。

⚠注意

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは設置しない

万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。

漏電ブレーカーを取り付ける

設置場所によっては漏電ブレーカーの取り付けが必要です。
漏電ブレーカーを取り付けていないと感電の原因になることがあります。

ドレンホースは、確実に排水するように配管する

排水工事が不確実な場合は、屋内に浸水し家財などをぬらす原因になることがあります。

各部のなまえ

室内ユニット
※SAP-ZK25X～ZK56X2のなまえ（表示部をのぞく）は、
SAP-ZK22Xとの相違点のみ表します。
SAP-ZK22X
エアフィルター
空気清浄フィルター
（別売品 14,20ページ）
前面パネル
吸込口（上面）
SAP-ZK25X～ZK56X2
湿度センサー（天面）
SAP-ZK45X2・ZK56X2
のみ付いています。
本体センサー（天面）
吹出口
電源プラグ
形名
修理やお問い合わせのときは、ここ
に書いてある形名をご連絡ください。
フラップ
（8ページ）
たて羽根
（8ページ）
SAP-ZK22X 表示部
本体センサー
受信部
運転ランプ （6ページ）
タイマーランプ （9ページ）
クリーンランプ （11ページ）
応急運転ボタン （4ページ）
試運転ボタン （15ページ）
運 転
タイマー
クリーン
応急運転
試運転
SAP-ZK25X～ZK56X2 表示部
受信部
応急運転ボタン
試運転ボタン
クリーン
タイマー
運 転
クリーンランプ
運転ランプ
タイマーランプ
●受信部
リモコンからの信号を受信すると“ピッ”
と音がします。
●試運転ボタン
アドレス切換時、または点検時に使用します。
通常は使用しないでください。
室外ユニット
SAP-CZK22X
吸込口（裏面・左側面）
アルミフィンに
さわらないよう、
ご注意ください。
配管と配線
ドレンホース
SAP-CZK25X
SAP-CZK28X
SAP-CZK40X
SAP-CZK45X2
SAP-CZK56X2
吹出口
SANYO
排水口（底面）
アース用ネジ

リモコン

説明のため表示画面すべてを表示してあります。

送信部
SAP-ZK22X は左側の 1 箇所のみです。

表示部
運転状態を表示します。

1H タイマーボタン
（10 ページ）

運転切換ボタン
（6 ページ）

快眠ボタン
（10 ページ）

入タイマーボタン
切タイマーボタン
時間送り／確認ボタン
（9 ページ）

センサーボタン※
リセットボタン
（5 ページ）
＊ 押すときには先の細いものをお使いください。

体感センサー
リモコンのまわりの温度を感知します。

運転／停止ボタン
押すと運転し、もう一度押すと停止します。

温度ボタン
（7 ページ）

風向ボタン
（8 ページ）

風量ボタン
（7 ページ）

アンペアボタン
（11 ページ）

クリーンボタン
（11 ページ）

体感センサー
設定温度　室温
自動
暖房
除湿
冷房
送風
クリーン
標準
時間後
快眠
自動
風量
自動
風向
1H タイマー
運転／停止
運転切換
▼温 度▲
快眠　風量　風向
入タイマー切　時間送り
確認
リセット　センサー　アンペア　クリーン
SANYO

裏から見た図

ジャンパー線
アドレス切換時に使用します。
（15 ページ）

アドレス ADR

▼裏面のふたをスライド

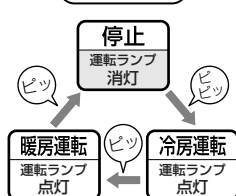
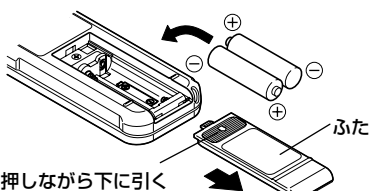
※センサーボタンについて

●体感センサーは5分に1回、リモコンまわりの温度を中心に、本体センサーは30秒に1回、本体中心に制御をします。リモコン制御で支障をきたす場合は センサー を押し、本体センサーに切り換えることをおすすめします。本体センサーに切り換えると、表示部に が表示されます。

応急運転（リモコンが使えないとき）

本体表示部にある応急運転ボタンを押すごとに（SAP-ZK25X～ZK56X2では先の細いものをお使いください）、運転の種類が「停止→冷房運転→暖房運転→停止…」の順に切り換わります。運転の種類は運転ランプの点灯と音でお知らせしますので、おこのみに合わせていずれかを選びます。

●設定温度は冷房運転時には室温の－2℃（20℃～30℃の範囲）、暖房運転時には室温の＋2℃（20℃～26℃の範囲）となり、風量・風向設定は自動となります。
●除湿運転、送風運転または試運転中に押すと停止します。

ご使用の前に

運転前の準備

室内ユニットの準備

1 **前面パネルを開ける**
前面パネルの両端を持って手前に引き上げます。

2 **空気清浄フィルター(ご使用の場合)を取り付け、前面パネルを閉じる** (14ページ)

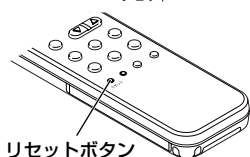
3 **電源プラグをコンセントに差し込む**
表示ランプが一瞬点灯しますが、これは異常ではありません。

リモコンの準備

乾電池の入れかた(単4形アルカリ乾電池2本)

1 **裏面のふたをはずす**

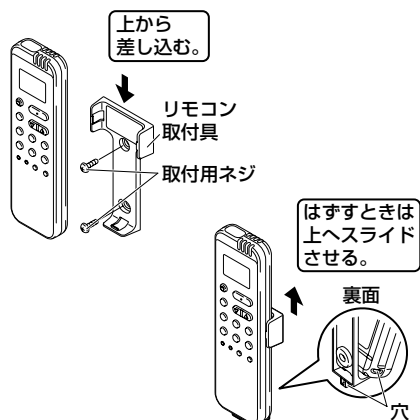
2 **乾電池を入れて、ふたを取り付ける**
＋－の向きを正しく!

3 **リセットを先の細いもので必ず押す**
乾電池の交換時も必ずリセットを押してください。

設定した内容は取り消されますので、設定をしなおしてください。

- ●長期間ご使用にならない場合は、乾電池を取り出してください。
- ●アルカリ乾電池の交換は、1年がめやすです。乾電池の寿命が近づくとリモコンの表示部がうすくなったり、受信距離が短くなります。このような場合は、乾電池を新しいものと交換してください。
- ●付属の乾電池はモニター用ですので1年に満たないうちに消耗することがあります。
- ●ご使用後の乾電池は指定の場所に捨ててください。
- ●アルカリ乾電池以外は使用しないでください。誤作動する場合があります。

リモコンの取り付けかた

壁などに取り付けてご使用の場合

取り付ける位置で 運転/停止 を押し、室内ユニットから“ピピッ”という受信音がしてエアコンが作動することを確認してから取り付けてください。

- ●リモコンとリモコン取付具の穴にひも状のものを通してお使いになると、リモコンの紛失防止になります。

お願い

- ●リモコンを手もとでご使用の場合、操作するときや運転中は、送信部を室内ユニットの受信部に向けてください。
- ●受信部とリモコンの間に、信号をさえぎるようなものを置かないでください。

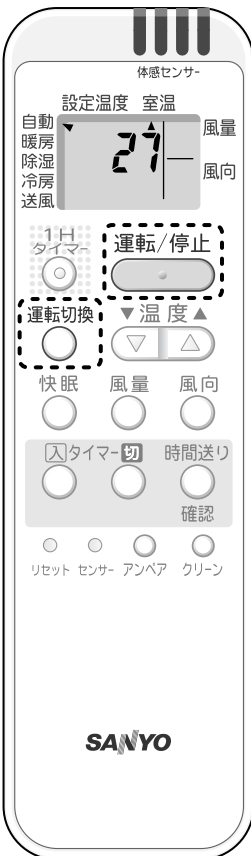
お願い

- ●**リモコンは、冷温風や日光が直接当たるところや、加湿器・熱源(電気カーペットやストーブなど)の近くには置かないでください。**
  また、電子瞬時点灯方式またはインバーター方式の蛍光灯がある部屋では、信号を受け付けないことがあります。このような場合は、お買いあげの販売店にご相談ください。
- ●リモコンは信号が届く位置に置いてください。位置が正しくないと、タイマー・室温制御などが正しくはたらきません。

自動／暖房／除湿／冷房／送風運転

自動運転
エアコンがそのお部屋の状況に合った運転の種類を自動的に選び、温度·風量·風向きを自動調節し、運転します。

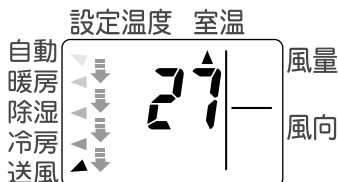
暖房／除湿 冷房／送風運転
おこのみの運転内容に設定できます。また、その内容はリモコンに記憶され、次回運転の際も有効です。

くわしい説明…15ページ

1 運転の種類を選ぶ

運転切換

運転切換 を押すごとに順次運転の種類が変わっていきます。

（運転中に切り換えると、室内ユニットから"ピッ"という受信音がします。）

設定温度 室温
自動
暖房
除湿
冷房
送風
風量
風向

自動運転時の設定標準温度

●運転をいったん停止してから4時間以内に再運転すると、停止前と同じ設定の運転になります。

運転の種類	設定標準温度
暖　房	24℃
除　湿	（運転開始の温度 20℃～26℃の範囲）
冷　房	27℃

2 運転する

運転/停止 （ピピッ）

運転/停止 を押してください。

運転を停止するときは もう一度、
運転/停止 を押してください。

室内ユニットの**運転ランプ**が点灯（緑色点灯）

●暖房時、運転ランプが点灯したままで送風が止まることがありますが、これは霜取機能がはたらいているためです。
（12ページ）

除湿・冷房運転では

●夏場や梅雨時は設定温度を20℃以上でお使いください。
19℃以下でご使用になると吹出口などに露が付き、滴下することがあります。
●窓を開けたままや湿度が高い状態で運転を続けると吹出口などに露が付き、滴下することがあります。

運転停止後には

●カビガード機能により、除湿・冷房運転停止後、室内のファンが約30秒間運転します。（運転ランプは消灯）
（16ページ）
フラップはファン停止後に閉じます。

温度調節／風量調節／風向調節

温度調節
設定温度をおこのみに変更できます。

風量調節
風向調節
暖気・冷気のかたよりを調節できます。

温度調節 設定温度を変えたいとき

▼温度▲ ピッ

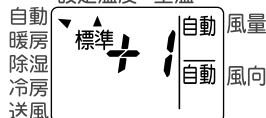
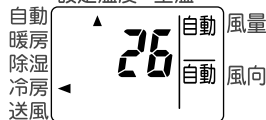
運転中に ▽△ を1度押すと表示が現在の設定温度に変わります。 ➡ 続けて押すごとに設定温度が1℃ずつ変化します。

自動運転

標準温度から+4℃（高め）から−4℃（低め）の範囲で変更できます。
（冷房時の上限は30℃です。）

暖房／除湿／冷房

設定できる温度は16℃から30℃までです。
（暖房・除湿・冷房とも共通の設定にしているため、設定幅が広くなっておりますが、設定温度によっては、外気や室温の温度条件などからエアコン内部の保護がはたらき、希望の温度にならない場合があります。）

設定温度　室温
自動
暖房
除湿
冷房
送風
26
自動　風量
自動　風向

- 除湿運転は、室温を上げる機能はありません。
- 外気温度や室内の熱量によっては、室温が変動します。
- 送風運転では設定温度の変更はできません。
- 変更した温度は運転停止後も記憶されています。
- 除湿運転時、室温より設定温度が高い状態で運転すると、湿度が下がらない場合があります。この場合は、設定温度を現在の室温より下げてご使用ください。
- 室温制御は設定に対し、±2℃の中で安定するように制御しています。このため、リモコンの室温表示は設定温度とずれることがあります。安定する前に±2℃の範囲を超えることもあります。
- 冷房・暖房時に、設定温度を冷房16℃・暖房30℃にした場合などに室内の風量が突然上がることがありますが異常ではありません。
- 温度調節後、約3秒で設定温度から室温の表示に変わります。

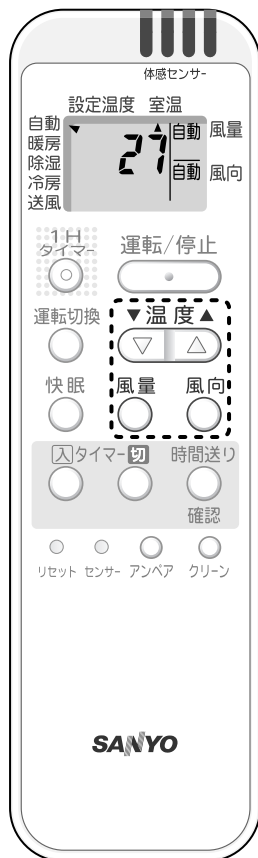
風量調節 風量を変えたいとき

風量 ピッ

運転中に 風量 を押す ➡ 押すごとに風量がつぎの順序で切り換わります。

●風量切り換え順序（リモコン表示）

自動 → 強 → 中 → 弱 → 微弱 →（自動へ戻る）

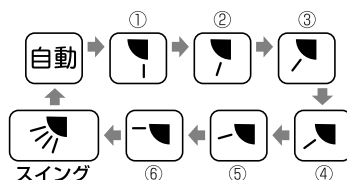
- 除湿運転中の「強」「中」は、冷房の「強」「中」より風量が低くなります。
- 暖房運転開始時、冷風防止機能がはたらいている場合は、風量の変更はできません。（12ページ）
- 「自動」は風量が自動的に切り換わります。
- 暖房運転時、室温が設定温度に到達すると熱交換器温度が低くなるため冷風防止機能がはたらき、おこのみの風量の変更ができないことがあります。この場合は設定温度を上げてください。

風向調節

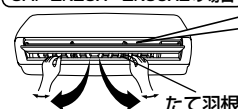
上下の風向きを変えたいとき

運転中に 風向 ◯ を押す ➡ 押すごとに上下の風向きがつぎの順序で切り換わります。

●フラップ設定可能範囲

	設定可能範囲	風向自動時のフラップ位置	スイング範囲
自動運転（暖房）	③～⑥	②	①～④
自動運転（冷房・除湿）	③～⑥	⑥	③～⑥
暖房運転／送風運転	①～⑥	②	①～④
冷房・除湿運転	③～⑥	⑥	③～⑥

●風向き切り換え順序（リモコン表示）

左右の風向きを変えたいとき

停止中に、吹出口にあるたて羽根を手で左右に調節します。羽根は左右2分割されていますので、それぞれ中央の羽根を持って行ってください。（SAP-ZK22Xでは、左右それぞれ中央の羽根の上部につまみが付いていますので、必ずそのつまみを持って調節してください。）

- ●風向設定は前回の位置を記憶しています。
- ●リモコン表示はめやすですので、実際の角度とは異なります。
- ●本体のフラップ位置⑤⑥はリモコン表示よりも下向きになり、フラップ位置①は真下よりも、若干ななめ上になります。
- ●運転停止後、フラップが閉じた後、モータ音がすることがありますが異常ではありません。
- ●フラップ位置は、できるだけ各運転の種類の「風向自動時のフラップ位置」でご使用ください。
- ●フラップは歯車で動作させているため、スイング中にわずかに動作が止まる場合がありますが、異常ではありません。
- ●フラップには機構上あそびがありますが、異常ではありません。

お願い

- ●フラップは、必ずリモコンで操作してください。手で直接操作すると、フラップがリモコンの設定位置とずれる場合があります。正常にもどすには、リモコンでいったん運転を停止させ、フラップが閉じてから再運転をしてください。
- ●冷房・除湿運転時、梅雨どきなどの湿度の高いときにたて羽根を大きく左右に曲げて使用すると吹出口付近に露が付着したり、滴下することがあります。たて羽根をまっすぐの位置にしてください。
- ●左右の風向調節は、必ず停止中に行ってください。運転中はファンが回転しているため、ケガの原因になります。

風量・風向調節では

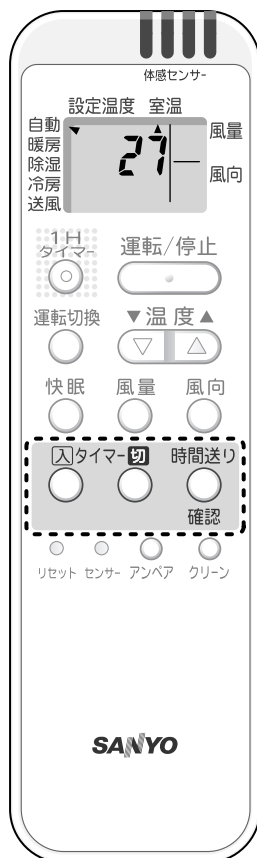
- ●暖房運転開始時、冷風防止機能がはたらいているときは、吹出温度が高くなるまでフラップ⑥の位置になります。この間はリモコンで操作しても、フラップは動きません。吹出温度が高くなると暖房運転設定可能範囲になります。
- ●ホコリカット機能により、風量自動・風向自動で運転開始時にSAP-ZK22Xは約15秒間、SAP-ZK25X～ZK56X2では約30秒間フラップは⑥よりさらに上になり、弱風で運転します。（16ページ）

入タイマー・切タイマー

12時間の範囲で、おこのみの時間に運転を開始または停止できる機能です。

入タイマー
設定した時間後に運転を開始します。

切タイマー
設定した時間後に運転を停止します。

くわしい説明…15ページ

入タイマー・切タイマー予約をする

入タイマー 〇 または タイマー切 〇 を押すと、
表示部が予約時間表示になり、
タイマーが予約されます。

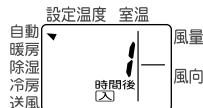
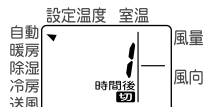
↓

その後、表示部は室温表示に
もどります。

●タイマー予約は、タイマー運転後には取り消されますので、そのつどセットしなおしてください。

入タイマー予約時の表示

切タイマー予約時の表示

設定温度 室温
自動
暖房
除湿
冷房
送風
風量
風向
時間後
切

室内ユニットの**タイマーランプ**が点灯

●タイマー予約は、運転中、停止中どちらでもできます。入・切タイマーの同時予約はできません。
●予約時間は、前に設定した予約時間を表示します。

予約を取り消したいとき ➡ もう一度 入タイマー 〇 または タイマー切 〇 を押す

入タイマー・切タイマー時間の設定・確認

時間送り 〇 確認

時間送り 〇 確認 を押す

↓

表示部の「入」または「切」が点滅し、タイマーによる運転開始(停止)までの残時間が表示されます。(約15秒間)

↓

表示部の「入」または「切」が点滅中、時間送り 〇 確認 を押すごとに1時間単位で予約時間を変更できます。

1 ➡ 2 ➡ 3 ➡ … ➡ 12

↓

変更後、表示部の「」または「切」の点滅が点灯に変わり、室温表示にもどります。

（このとき室内ユニットから“ピッ”という受信音がします。）

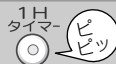
1Hタイマー運転／快眠運転

1Hタイマー運転

1時間だけ運転しますので、切り忘れがありません。

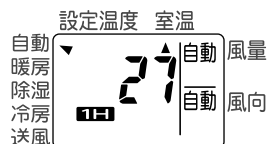
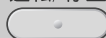
快眠運転

おやすみ中にご使用になると、通常よりもおさえた運転音と温度でコントロールをします。

1Hタイマー運転

1H タイマー を押す

↓

表示部に「1H」が表示されます。

設定温度 室温 / 自動 暖房 除湿 冷房 送風 / 自動 風量 / 自動 風向

室内ユニットのタイマーランプは点灯しません。

停止したいとき ➡ 運転/停止 を押す

- 1Hタイマー運転中に 1H タイマー を押すと、押した時点から1時間後に運転を停止します。
- 1Hタイマー運転と切タイマーは、後押し優先になります。
- 切タイマー予約中に を押すと、切タイマーは取り消されます。
- 入タイマー予約中に 1H タイマー を押すと1Hタイマー運転を優先します。1Hタイマー運転中に入タイマーの設定時刻がきた場合は、そのまま1Hタイマー運転を続けます。1Hタイマー運転後に入タイマー設定時刻がきた場合には、入タイマー設定時刻に運転を開始します。

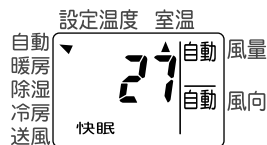
快眠運転

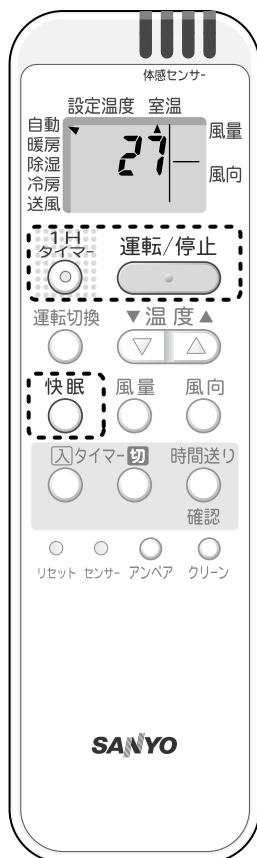
快眠 ピッ

運転中に 快眠 を押す

↓

表示部に「快眠」が表示されます。

設定温度 室温 / 自動 暖房 除湿 冷房 送風 / 自動 風量 / 自動 風向 / 快眠

取り消したいとき ➡ 快眠 をもう一度押す

- 室内ユニットの表示ランプが減光します。（お部屋が明るいときは、ランプが見づらくなります。）
- 室内外ユニットの風量を自動的に下げ、運転時の送風音をおさえます。
- 設定温度を冷房・除湿時は1℃高く、暖房時は1時間後3℃、3時間後には7℃低くします。（除湿時、除湿能力をおさえた運転をするため、室温表示が合わない場合があります。）
- 送風運転時には、はたらきません。

アンペア切換／クリーン運転

アンペア切換

電気カーペットや電子レンジなど消費電力の大きい機器と併用するとき、ブレーカーを切れにくくする機能です。

クリーン運転

カビの発生を抑制する機能です。暖房運転してエアコン内部を乾燥させます。お部屋のお掃除のたびのご使用をおすすめします。

くわしい説明…16ページ

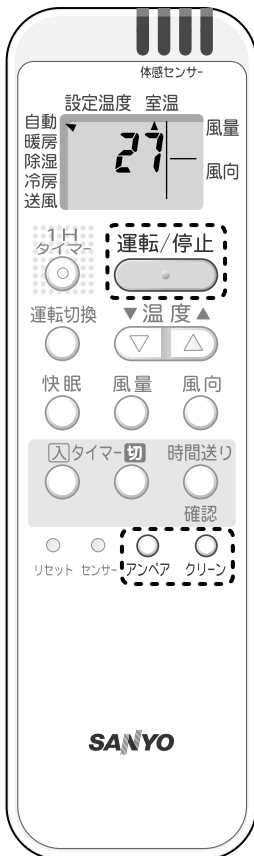
アンペア切換

アンペア を押す

⬇

表示部に「」が表示されます。

取り消したいとき

⬇

アンペア をもう一度押す

●夏の昼間や冬の夜間など、冷暖房能力が不足し、お部屋の温度が設定温度にならない場合にはもとの設定にしてください。

メモ

●最大運転電流を下げ、能力をおさえた経済的な運転を行います。

設定電流	SAP- ZK22X ZK25X ZK28X ZK45X2	SAP- ZK40X ZK56X2
表示なし	15A	20A
	8A	15A

クリーン運転

停止中に クリーン を押す

⬇

表示部に「クリーン」が表示されます。

●弱風で暖房運転を行い、35分後に運転を停止します。

設定温度 室温
自動 暖房 除湿 冷房 送風 クリーン 風量 風向

室内ユニットの**クリーンランプ**が点灯

取り消したいとき ➡ クリーン をもう一度押すか、運転/停止 を押す

運転可能条件

外気の温度	1～43℃
部屋の温度	13～32℃

●外気または部屋の温度が高いときは、保護装置がはたらくことがあります。

●除湿・冷房運転直後のご使用が効果的です。

●除湿・冷房運転直後には室温・湿度が上がります。

●お部屋ににおいが出てきますので、窓やドアの開放や換気扇などで、換気をしてください。

●運転中に“ピシッ”という音がしますが、異常ではありません。

●クリーン運転中のリモコン操作は クリーン のみ有効です。

知っておいていただきたいこと

ヒートポンプ方式エアコンについて

●外気の熱を室内にくみ上げて暖房する方式です。外気温度が下がるにつれ暖房能力は低下しますが、インバーターのはたらきにより、圧縮機の回転数を上げ、その能力の低下を防いでいます。急速に室温を上げる場合や寒冷地など、とくに外気温度が低い場合には、他の暖房機器との併用をおすすめします。
●お部屋全体を暖める温風循環方式ですので、暖まるまでしばらく時間がかかります。
●冷媒はR410Aを採用しています。

運転条件

暖房時	外気の温度　約24℃以下
冷房時	外気の温度　約21℃以上　43℃以下 部屋の温度　約21℃以上　32℃以下 部屋の湿度　約80%以下
除湿時	外気の温度　約21℃以上　43℃以下 部屋の温度　約15℃以上　32℃以下 部屋の湿度　約80%以下

●上記以外の条件で長時間運転しますと、保護装置がはたらいて運転できないことがあります。
●梅雨どきなど湿度の高いときに運転すると、霧が吹くことがあります。この場合は設定温度を上げてください。また、長時間冷房・除湿運転すると、エアコンの表面に露が付き、滴下することがあります。これは、エアコンの能力に対して大きさの適さないお部屋で運転した場合も同様です。このような場合はタオルなどでふいてください。
●エアフィルター、空気清浄フィルター（ご使用の場合）が汚れていると水とび、水漏れの原因になりますので、ご注意ください。

こんなときは運転を停止して電源プラグを抜く

●長期間使わないとき
●落雷のおそれがあるとき
　電気回路の焼損を防ぐためにも、雷が鳴りだしたら早めに停止し、電源プラグを抜いてください。
●お手入れのとき
●故障と思われるとき

暖房時の霜取機能について

●室外ユニットに霜が付くと暖房能力が低下するので、自動的に霜取機能がはたらき（約2～12分間）、室内ファンが止まります。霜取りが終了すると、再度運転を開始します。
●霜取中に運転を停止した場合、霜取運転は継続します。霜取運転終了後、自動的に運転を停止します。

暖房時の高負荷防止について

●温度条件や、エアフィルター・空気清浄フィルター（ご使用の場合）の目づまり具合によっては、能力をおさえた運転や室外ユニットが停止したりすることがあるため、設定温度にならない場合があります。

暖房時の冷風防止機能について

●運転開始時や除霜後の風量は、微風運転または停止（室温が15℃未満、かつ室内熱交温度が20℃未満）になります。吹出温度が高くなるにつれて、設定風量になります。
●室温が設定温度に到達後など、室内ユニットの熱交換器温度が低くなった場合は、風量が低下したり微風運転になります。
●外気温度や室温によって、フラップの動作（⑥の位置）が解除するまでの時間（最長13分後）は変化します。

暖房運転停止時の除霜について

●運転停止後、つぎの暖房運転に備えて室外ユニットに付着している霜を取り除くため、室外ユニットが運転を続けることがあります。このとき、運転ランプは消灯します。

凍結防止機能について

●冷房・除湿運転時、温度条件やエアフィルター・空気清浄フィルター（ご使用の場合）の目づまり具合によっては室内ユニット内部が凍結することがあるため、事前に能力を下げた運転をしたり、さらには室外ユニットの運転を停止させる機能です。

冷房時の湿度上昇について

●冷房運転は室温設定を重視していますので、設定温度になると負荷の軽いときは湿度が上がる場合があります。また設定温度に近づくと、ドレン水が出なくなることがありますが、異常ではありません。

お手入れのしかた

日ごろのお手入れが、エアコンを長持ちさせるヒケツです。こまめなお手入れを心がけましょう。

お手入れの前に（掃除を業者に依頼するときは、お買いあげの販売店にご相談ください。）

エアコン本体を掃除するときは停止する

●掃除するときは必ず運転を停止にし、電源プラグも抜いてください。内部でファンが高速回転しているため、ケガの原因になることがあります。

エアコン内部にある湿度センサーには、水などは絶対にかけない

（SAP-ZK45X2、ZK56X2の場合）

●湿度センサーが正しく機能しなくなるおそれがあります。

エアコンは直接水洗いをしない

●エアコンを水洗いしないでください。故障・感電・火災の原因になることがあります。

不安定な踏み台などは使用しない
シンナー・ベンジン・アルコール・中性以外の洗剤・40℃以上のお湯は、使用しない

●変形・変色の原因になります。
室内ユニット・リモコンには、絶対に水をかけないでください。（故障や感電のおそれがあります。）

本体・リモコンのお手入れ

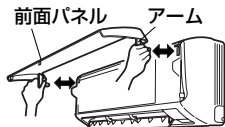
柔らかい布でからぶきします

●汚れがひどい場合は、水または中性洗剤を使ってふいてください。
リモコンはボタン類のすきまから水などが入らないようにご注意ください。

●前面パネルは、取りはずして水洗いすることができます。

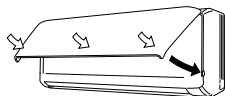
前面パネルの水洗いのしかた

1 前面パネルをはずす

前面パネルを全開にした状態で、両手でアームを持ち、外側に広げるようにして手前に引きます。
（はずしにくい場合は、前面パネルの両端を持って少し上に持ち上げて左に寄せ、左側のアームをはずしてから、右側のアームも右に寄せてはずします。）

2 前面パネルを洗う

柔らかいスポンジのようなもので軽く洗い、水気を十分ふき取ってください。
汚れがひどい場合は中性洗剤を使用し、その後よく水洗いをしてください。

3 前面パネルの取り付け

前面パネルをほぼ水平にして、アームの軸を本体のくぼみの上部に挿入し、突き当たるまで押し込み、はめ込みます。
前面パネルの両端を持って閉じてから、矢印部分（⇩）を押して前面パネルを固定します。

長期間使わないとき

●暖房運転または送風運転やクリーン運転をして、カビが生えないよう機械内部を乾燥させます。

●エアフィルターを掃除し、空気清浄フィルター（ご使用の場合）の汚れ具合を点検します。

●運転を停止し、電源プラグを抜いてください。

●リモコンの乾電池を取り出します。

再び使い始めるとき

●リモコンの乾電池を入れてください。(5 ページ)

●電源プラグを入れてください。

確認してください

●エアフィルターと空気清浄フィルター（ご使用の場合）は付いているか。

●室内・室外ユニットの吹出口や吸込口をふさいでいないか。

●電源プラグやコンセントにホコリや汚れはないか。

●アース線ははずれていないか。

●ドレンホースの先端にゴミやホコリがつまっていないか。

エアコンのクリーニング依頼について

●エアコンのクリーニングについては「専門の業者」へご依頼願います。

エアコン用洗浄スプレー（洗浄剤）のご使用について

●市販のエアコン用洗浄スプレー（洗浄剤）をご使用になる場合、洗浄成分により故障の原因になることがあります。
（電装部品、樹脂の割れなど）

お手入れのめやす

エアフィルター

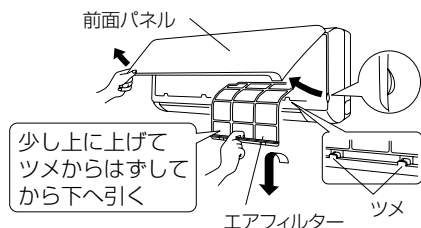
2週間に一度をめやすに掃除してください。

空気清浄フィルター（別売品）

3箇月をめやすに交換してください。

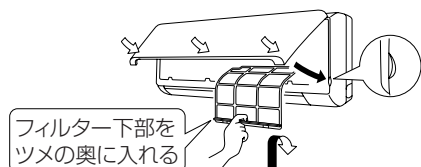
エアフィルターのお掃除

1 **前面パネルを開けて、エアフィルターを取り出す**

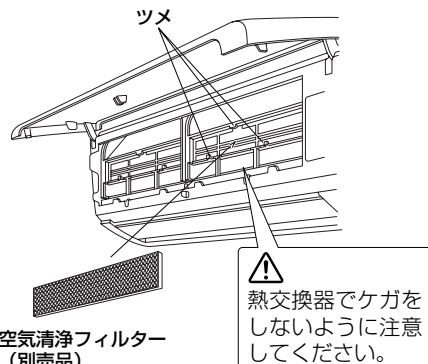
前面パネルの両端を持って手前に引き上げてから、エアフィルターをはずします。

2 **掃除機をかけてから水洗いをする**

水洗いした後は、日陰でよく乾かしてください。

3 **「前面」と表示してあるほうを手前にしてエアフィルターを取り付け、前面パネルを閉じる**

前面パネルの両端を持って閉じてから、矢印部分（⇩）を押して前面パネルを固定します。

空気清浄フィルター（別売品）の取り付けかた・交換

取り付け、または交換のしかた

1 前面パネルを開けて、エアフィルターを取り出し、空気清浄フィルターを図のように取り付けます。

取付位置のツメ(3箇所)の下に入れてのせます。(枠は必要ありません)

2 エアフィルターを取り付け、前面パネルを閉じます。
（交換の場合も同様に行います。）

お願い

- 空気清浄フィルターは、折り曲げたり、強い力を加えたりしないでください。
- 交換用の空気清浄フィルターはお近くの販売店でお求めください。
（形名は *20ページ* の別売品を参照）
- 使用済みの空気清浄フィルターは、燃えるゴミとして処理できますが、地方自治体によって異なりますので、ご注意ください。

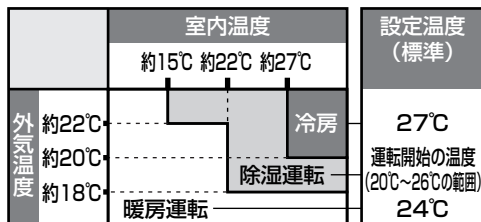
エアコンのくわしい説明

この説明書の前の部分では、運転に必要な操作手順を中心に説明しました。それぞれの機能の、よりくわしい説明を以下に解説します。

運転切換について

●運転中に 運転切換 を押すと、運転が約3分間停止し、その後おこのみの運転を開始します。
●風量は自動に、風向は風向自動時のフラップ位置になります。

自動運転では

●室内外の温度により、暖房・除湿・冷房運転を自動的に選択します。
（運転をいったん停止してから4時間以内に再運転すると、停止前と同じ設定の運転になります。ただし、タイマー予約中は停止に含まれません。）

●温度・風量・風向も自動的に設定されますが、風量および風向をおこのみに応じて変えることもできます。なお風量は切り換わるまでに数秒かかります。

除湿運転について

●室温が設定温度より高い場合は、冷房運転と同じ運転を行い、設定温度に近づいてくると除湿運転になり、室内ファンは不規則な運転を行います。また、室外ユニットは能力をおさえた運転を継続し、さらに室温が低下すると停止します。室温が15℃未満では、室外ユニットが停止します。
●外気温度が低くなったときや狭い部屋などで使用すると、設定温度よりも室温が下がる場合があります。
●室温が設定温度より低いときでも、ユニットが運転する場合があります。

お願い

●冷房・除湿時にエアフィルターや空気清浄フィルター（ご使用の場合）の目づまりで露がとんだり、凍結防止機能がはたらく場合があります。この場合はエアフィルターを掃除し、空気清浄フィルター（ご使用の場合）を交換してください。

送風運転では

●風量調節が自動の場合には風量は「弱」、フラップは暖房初期設定の位置になります。
●風量、風向は 風量 、風向 を押して変更できます。
●冬期などで他の暖房器具をご使用の場合は、お部屋の空気の循環を行いますので室温のムラが少なくなります。
●空気清浄フィルター（ご使用の場合）を取り付けると空気中のチリやホコリを取り除き、たばこの煙やにおいを軽減します。

入タイマー・切タイマーについて

●タイマー予約中は、停止中でも風量・風向・設定温度の変更が可能です。
●入タイマー予約中は運転を停止しても、予約を取り消さない限り、予約時間に運転を開始します。
●切り忘れ防止として、入タイマーによる運転開始から25時間以上リモコン操作がない場合には、運転を停止します。

アドレス切換について

●弊社エアコンを2台隣接設置するときに切り換えると、リモコンの混信を防止します。アドレス切換が必要な場合は、以下の手順で行ってください。また、3台以上のときはお買いあげの販売店にご相談ください。

①リモコンの裏面のふたを開け、アドレス切換のジャンパー線をニッパーなどで切断し、再び接触しないように切り口を押し広げる。
（乾電池は入っていない状態で行ってください。）
②リモコンに乾電池を入れてふたを付け、リセット を押す。
③停止中の室内ユニットの試運転ボタンを先の細いもので押し続け、室内ユニットから“ピピッ”と音が出ることを確認し、一度手をはなす。
（試運転ボタンを押したときに“ピッ”と音が出ますが、その後“ピピッ”と音が出るまで押し続けてください。）
④その後、室内ユニットから“ピー”と音が出たら約5秒以内にリモコンの 運転/停止 を押し、もう一度“ピピッ”と受信音が出ることを確認する。

このシステムは運転開始時に、におい・ホコリが出るのをおさえる「ニオイカット機能」と「ホコリカット機能」、運転停止後にエアコン内部のカビの発生をおさえる「カビガード機能」、運転停止中に行う「クリーン運転」の4つの機能により、室内ユニット内部をクリーンに保ち、エアコンから吹き出す空気をきれいにします。
お部屋をきれいにしたり、すでに発生しているカビやホコリを取ることはできません。

運転時のニオイカット機能について

●冷房・除湿運転の風量自動で運転開始時に約40秒間、室内ファンの運転を遅らせます。また、フラップはスイングしません。これは、エアコンに付着したいろいろなにおいが、風とともに出てくるのを軽減するためです。

ホコリカット機能について

●風量自動・風向自動で運転開始時にSAP-ZK22Xは約15秒間、SAP-ZK25X～ZK56X2では約30秒間弱風で運転し、フラップは⑥よりさらに上向きになります。これは、運転開始時のホコリが出るのをおさえるため弱風で運転し、エアコンから吹き出す風を本体にもどすエアショートを発生させ、室内ユニットに付いたホコリをフィルターで取りのぞくためです。
●冷房・除湿運転時ではニオイカット、暖房運転時では冷風防止機能が優先し、その後機能します。
●フラップの位置はSAP-ZK22Xは水平、SAP-ZK25X～ZK56X2では水平より下向きですが、異常ではありません。またリモコン表示はめやすですので、実際とは異なります。

カビガード機能について

●冷房・除湿運転停止後、室内ユニット内部のカビの発生をおさえるため、約30秒間弱風で送風運転をします。（運転ランプは消灯）
フラップはファン停止後に閉じます。

クリーン運転について

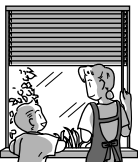
●室内ユニット内部のカビの発生をおさえるため、停止中に ○(クリーン) を押すと、35分間運転します。
（運転ランプは消灯、クリーンランプが点灯）
開始後10分間は送風運転で熱交換器に付着している水分を室外に除去し、残りの25分間は暖房運転で蒸発・乾燥を行います。またこの間、熱交温度と外気温度によっては、送風運転になります。
●運転の途中で取り消したり外気温度によっては、室内ユニット内部が十分乾かないことがあります。
●フラップは、開始後の25分間は⑥より上の位置、その後10分間はさらに上の位置になります。
●お部屋の温度や外気温度によっては、窓や壁などに結露することがあります。

エアコンを上手に使うコツ

窓にはブラインドやカーテンを

夏の日差しや冬の寒さを上手に防いで、冷暖房効果をアップ。
ブラインドで約15%、カーテンでは約50%、日射量を減らすことができます。

エアフィルターはまめにお掃除を

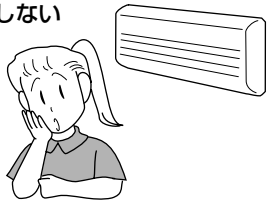
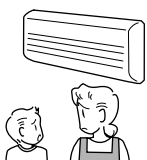
エアフィルターが汚れると冷暖房効果が落ち、電気代が約6%ムダになります。また、異常音が発生したり、吹出口に露が付くことがあります。
2週間に一度をめやすに掃除してください。

快適な冷房（暖房）温度で効率よく省エネを

冷房時、室温と室外の温度差は約5℃以内が最適です。設定温度を1℃上げると（暖房時は1℃下げると）約10%も電気代が節約できます。

上手に活用　タイマー運転

タイマーを上手に使えば、
電気代も節約できます。

故障かな?

修理を依頼される前に、もう一度確かめてみてください。

これは故障ではありません。

すぐに運転しない		●電源を入れた直後や再運転時、また運転中に 運転切換 ◯ を押すと、室外ユニットは約3分間運転しません。これはエアコンの故障を防ぐためです。
すぐに停止しない		●運転停止後にエアコン内部を乾かすため、カビガード機能がはたらくためです。 ●暖房運転停止後、室外ユニットに付着している霜を取り除くためです。
すぐに風が出ない		●冷房・除湿運転開始時はニオイカット機能がはたらくためです。（風量自動のとき） *(16ページ)* ●暖房運転開始時は冷風防止機能がはたらくためです。*(12ページ)*
音がする	水の流れるような音	● エアコン内部の冷媒ガスが流れる音です。（シュー、チョロチョロ、ゴボゴボなど）
	ピシッという音	●エアコン内部のスイッチ作動音、あるいは温度変化によって樹脂部品などが伸縮するときの音です。または、暖房運転を停止したときの熱交換器からの音です。
	ブシューンという音	●霜取装置がはたらいたとき発生する音です。
	室外ユニットからの音	●運転開始時、膨張弁が作動する音です。
いやなにおいがする		●壁やじゅうたん、家具、衣類にしみこんでいるにおいがエアコン内部に付着し、運転中に強くにおうことがありますので、定期的な点検整備をおすすめします。点検整備は販売店にご相談ください。
室外ユニットから水・湯気が出る		●暖房時、室外ユニットに付着した水および霜取運転で発生する湯気やとけた水が出るためです。 ●冷房時、バルブや配管が冷やされ露が付着し、滴下することがあります。
熱交換器が変色している		●熱交換器の右端が変色していますが、これは溶接によるもので、異常ではありません。

故障かな？（つづき）

風量が切り換わらない	●除湿運転時や暖房運転開始時には風量は切り換わりません。 ●運転中に 運転切換 ◯ を押すと約3分間は微風運転となり、その後設定した風量になります。 ●風量自動で運転開始時はホコリカット機能がはたらくためです。（16ページ）
湿度が下がらない	●室内の温度が低い場合に、除湿量が少なくなるためです。
室温が上がらない	●除湿運転時は、室温を上げる機能はないためです。
室温が下がらない 室温が下がりすぎる	●除湿運転時は湿度優先の運転を行うため、室外の温度条件によっては、室温が下がらないことや下がりすぎることがあります。
テレビ、ラジオなどにノイズが入る	●アースをとらないと、ノイズの原因となりますので、必ずアースをとってください。
ほかのエアコンも信号を受けてしまう	●弊社エアコンを2台以上隣接設置するときはリモコンの混信をすることがありますので、アドレス切換を行ってください。（15ページ）

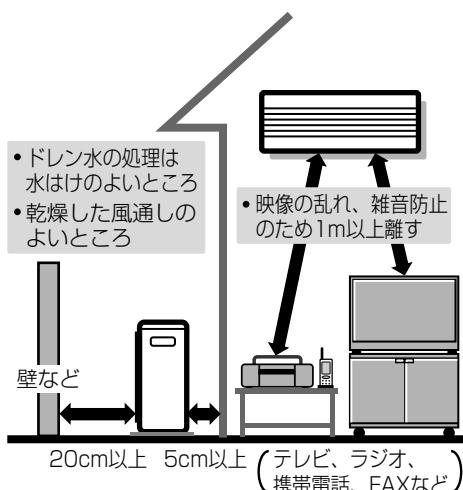
こんなときは再度ご確認ください。

運転しない	●停電ではありませんか？ エアコンは停止したままです。通電後にあらためて運転操作をしなおしてください。 ●電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ●ブレーカーまたはヒューズが切れていませんか？ ●リモコンの乾電池が切れていませんか？ ●リモコンの乾電池の＋－が逆になっていませんか？
よく暖まらない よく冷えない	●設定温度が高かったり（冷房時）、低く（暖房時）なっていませんか？ ●リモコンの信号は届いていますか？ （5ページ） ●窓や戸が開いていませんか？ ●換気扇が回っていませんか？ ●エアフィルター、空気清浄フィルター（ご使用の場合）は汚れていませんか？ ●室外ユニットのまわりに障害物はありませんか？
運転ランプが点滅する	●一度運転を停止してから再運転をしてください。再び運転ランプが点滅する場合はお買いあげの販売店にご連絡ください。
室内ユニットから水が吹き出したりポコポコ音がする	●ドレンホースは、確実に排水するように配管してありますか？ ●換気扇などにより、ドレンホース内の空気が吸引される音です。対策用の市販部品がありますので、お買いあげの販売店にご相談ください。

お買いあげの販売店にご連絡ください。

ただちに運転を停止し、電源プラグを抜いて、お買いあげの販売店にご連絡ください。	●運転音が異常に高くなった。 ●室内ユニットから水が漏れる。 ●架台や吊り下げなどの取付部品が腐食したりゆるんでいる。 ●電源コードやプラグが異常に熱い。 ●こげくさいにおいがする。 ●ブレーカーやヒューズがたびたび切れる。

設置について

設置場所

こんな場所は避けてください。

●高周波ノイズを発生する機器のあるところ
●水や油の蒸気にさらされるところ
●可燃性ガスの漏れるおそれのあるところ
●海浜地区など、塩分の多いところ
（耐塩害仕様機種は除く）
●温泉など、硫化ガスの発生するところ
●吹出風が、動植物などに直接当たるところ
●室外ユニットが水平に設置できないところ
●天吊架台をご使用の場合、洗濯物を干すところの上
●室内外ユニットの排水口をさまたげるところ
●室外ユニットの吸込口が容易にさわれるところ

設置にあたっては電波障害へのご配慮を!

●室外ユニットは、テレビ、ラジオなどから3m以上離してください。
●電波の弱い地域において、テレビ用の増幅器を使用しているとき、まれにテレビにノイズが入ることがあります。この場合は増幅器の位置を変えてみてください。

電気工事

●**専門の技術が必要となりますので、お買いあげの販売店にご相談ください。**
●据付工事説明書に基づいて工事をしてください。
●電源は定格電圧で、エアコン専用の回路をご使用ください。コンセントの工事が必要な場合は、本体のプラグに合わせて工事をしてください。
●設置場所によっては、漏電ブレーカーの取り付けが必要となります。
●アース工事は室内または室外ユニットどちらか一方で必ず行ってください。とくにインバーターエアコンは、高周波による帯電やノイズを逃がすためにも、アースが必要です。アースをとらないと電気を感じることがあります。なお、他の機器のアースとは2m以上離し、併用はしないでください。
●コンセントは新しいものを使用してください。古いと電気的接触が不十分で思わぬ事故になることがあります。
●電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用やタコ足配線をしないでください。

設置にあたっては騒音にもご配慮を！

●エアコンの重量にも十分耐え、騒音や振動が増大しないようなところ、室外ユニットの吹出口からの風や騒音が隣家の迷惑にならないようなところをお選びください。
●吹出口近くにものを置くと、機能低下や騒音の原因になります。

移転について

●転居・増築などでエアコンを取りはずしたり、再び設置する場合は、専門の技術（ポンプダウンやエアパージなど）が必要となります。移転の際には、必ずお買いあげの販売店にご相談ください。
●他社のエアコンを弊社のものに変えるときは、配管・冷凍機油はそのまま使用しないでください。また、古い配管も使用しないでください。
●転居の場合、50Hz・60Hz共用ですので、そのままご使用になれます。
●冷媒R410A用の冷凍機油はR22用とは異なります。これが少量でも混入すると、不純物を生成し冷媒回路が故障する原因となりますので、絶対に避けてください。

仕様

室内・室外の組み合わせ形名				室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
				SAP-ZK22X	SAP-CZK22X	SAP-ZK25X	SAP-CZK25X	SAP-ZK28X	SAP-CZK28X
種類				スプリット形　冷房・暖房兼用					
電源				単相100V　50/60Hz					
暖房	能力		kW	2.2（0.5～3.6）		2.5（0.5～4.3）		2.8（0.5～4.6）	
暖房	運転電流		A	4.5		4.9		5.7	
暖房	消費電力		W	410（180～795）		445（180～1,030）		520（180～1,140）	
暖房	期間消費電力量		kWh	728		758		848	
暖房	運転音		dB	42	45	43	44	44	44
暖房	エネルギー消費効率		―	5.37		5.62		5.38	
暖房	暖房面積の目安（㎡）	鉄筋アパート南向き洋室		10		11		13	
暖房	暖房面積の目安（㎡）	木造南向き和室		8		9		10	
冷房	能力		kW	2.2（0.5～3.0）		2.5（0.5～3.2）		2.8（0.5～3.5）	
冷房	運転電流		A	4.7		5.6		7.1	
冷房	消費電力		W	425（180～950）		505（180～1,080）		635（180～1,250）	
冷房	期間消費電力量		kWh	230		244		274	
冷房	運転音		dB	40	44	41	43	43	43
冷房	エネルギー消費効率		―	5.18		4.95		4.41	
冷房	冷房面積の目安（㎡）	鉄筋アパート南向き洋室		15		17		19	
冷房	冷房面積の目安（㎡）	木造南向き和室		10		11		13	
期間消費電力量　※			kWh	958		1,002		1,122	
冷暖平均エネルギー消費効率			―	5.28		5.29		4.90	
通年エネルギー消費効率			―	4.6		5.0		5.0	
外形寸法（高さ×幅×奥行）	室内		mm	250×799×205（据付後207）		295×799×227（据付後229）			
外形寸法（高さ×幅×奥行）	室外		mm	510×660×240		548×720×265			
製品質量			kg	7.5	24	10	30	10	30
運転／停止ボタンで停止時の消費電力			W	0.8					
区分名			―	A	―	A	―	A	―

付属品	別売品
取扱説明書（1）、保証書（1）、 据付工事説明書（1） リモコン（1） RCS-AX1（SAP- ZK22X） RCS-AX2（SAP- ZK25X・ZK28X・ZK40X・ZK45X2・ZK56X2） リモコン取付具（1）、取付用ネジ（1） 単4形アルカリ乾電池（2）	空気清浄フィルター STK-F8　（洗えるアパタイトフィルター）　1,050円（1枚） STK-F4A（簡易タイプりんごのカテキン入りフィルター） 1,575円（2枚組×2セット） STK-F4　（触媒脱臭付きハニカムフィルター） 3,360円（2枚組×2セット） STK-F5B（洗えるりんごのカテキン入りフィルター） 2,100円（2枚組×1セット） STK-F5A（りんごのカテキン入りフィルター） 3,570円（2枚組×2セット）

仕様（つづき）

室内・室外の組み合わせ形名		室内ユニット SAP-ZK40X	室外ユニット SAP-CZK40X	室内ユニット SAP-ZK45X2	室外ユニット SAP-CZK45X2	室内ユニット SAP-ZK56X2	室外ユニット SAP-CZK56X2
種類		スプリット形　冷房・暖房兼用					
電源		単相100V　50/60Hz		単相200V　50/60Hz			
暖房 能力	kW	5.0（0.5～5.9）		6.3（0.4～8.7）		6.7（0.4～9.2）	
暖房 運転電流	A	13.6		10.2		9.8	
暖房 消費電力	W	1,240（180～1,640）		1,990（120～2,600）		1,925（120～3,050）	
暖房 期間消費電力量	kWh	1,352		1,591		2,039	
暖房 運転音	dB	45	46	45	49	47	51
暖房 エネルギー消費効率	―	4.03		3.17		3.48	
暖房 暖房面積の目安（㎡） 鉄筋アパート南向き洋室		23		29		30	
暖房 暖房面積の目安（㎡） 木造南向き和室		18		23		24	
冷房 能力	kW	4.0（0.5～4.3）		4.5（0.4～5.2）		5.6（0.4～5.8）	
冷房 運転電流	A	13.4		7.0		9.8	
冷房 消費電力	W	1,210（180～1,500）		1,375（120～2,010）		1,925（120～2,200）	
冷房 期間消費電力量	kWh	470		506		698	
冷房 運転音	dB	44	45	45	48	47	49
冷房 エネルギー消費効率	―	3.31		3.27		2.91	
冷房 冷房面積の目安（㎡） 鉄筋アパート南向き洋室		28		31		39	
冷房 冷房面積の目安（㎡） 木造南向き和室		18		20		25	
期間消費電力量 ※	kWh	1,822		2,097		2,737	
冷暖平均エネルギー消費効率	―	3.67		3.22		3.20	
通年エネルギー消費効率	―	4.4		4.3		4.1	
外形寸法（高さ×幅×奥行） 室内	mm	295×799×227（据付後229）					
外形寸法（高さ×幅×奥行） 室外	mm	565×790×265		569×790×285			
製品質量	kg	10	34	10	41	10	41
運転／停止ボタンで停止時の消費電力	W	0.8		1.0			
区分名	―	C	―	―	―	―	―

●この仕様はJIS（日本工業規格）に基づいた数値です。
●表中の数値等はお断りなく変更する場合があります。
●別売品についてはお買いあげの販売店にご相談ください。
●取扱説明書・本体の定格銘板には色記号の表示を省略しています。梱包箱に表示している形名の（　）内の記号が色記号です。
●室外ユニットの形名のうしろに-TEが付いているものは、「耐塩害仕様」の機種を示します。

●区分名の表示について　※家庭用品品質表示法による。

冷房能力	室内外形寸法	区分名
3.2kW以下	高さ 295mm以下×幅 800mm以下	A
3.2kW超、4.0kW以下		C

※（社）日本冷凍空調工業会規格（JRA4046-2004:ルームエアコンディショナの期間消費電力量算出基準）に基づき、運転したときの試算値です。実際には地域、気象条件、ご使用条件などにより電力量が変わることがあります。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

- このエアコンには保証書が付いています。
- お買いあげの販売店が所定事項を記入してお渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証期間

- お買いあげの日から1年間。
- 冷媒回路部分については5年間。

補修用性能部品の保有期間

- エアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後9年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点は

- ご不明な点はお買いあげの販売店またはもよりの「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

修理を依頼されるときは

- 「故障かな?」の項目を調べていただき、なお異常が認められる場合にはまず運転を停止し、お買いあげの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

- 保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

保証期間を過ぎているときは

- 修理すればご使用できる場合には、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

- 技術料／故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- 部品代／修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等が含まれています。
- 出張料／製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お客さまメモ （お買いあげの際に記入しておきますと、修理などを依頼されるとき便利です。）

形名	
お買いあげ日	年　月　日
お買いあげ販売店 電話	（　）　－

点検整備のおすすめ

- ご使用状態によって異なりますが、エアコンを数シーズンご使用になりますと、内部の汚れなどにより能力が低下したり、においの発生・水漏れを起こす原因になることがあります。通常のお手入れとは別に、点検整備をおすすめします。点検整備は、お買いあげの販売店にご相談ください。なお、この場合は実費が必要となります。

廃棄時のご注意

- 2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客さまがご使用済みのエアコンを廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)
※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体の銘板近傍に行っています。

【製造年】（室内ユニット本体の銘板の中に西暦4桁で表示してあります）

※【設計上の標準使用期間】　10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)
※運転時間や温湿度など、右の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

- 設置状況や環境、使用頻度が右記の条件と異なる場合、または本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■ **標準使用条件**　日本冷凍空調工業会自主基準による

環境条件	電源電圧	製品の定格電圧による
	周波数	50および／または60Hz
	冷房室内温度	27 ℃（乾球温度）
	冷房室内湿度	47%（湿球温度19 ℃）
	冷房室外温度	35℃（乾球温度）
	冷房室外湿度	40%（湿球温度24℃）
	暖房室内温度	20℃（乾球温度）
	暖房室内湿度	59%（湿球温度15℃）
	暖房室外温度	7℃（乾球温度）
	暖房室外湿度	87%（湿球温度6℃）
	設置条件	製品の据付工事説明書による標準設置
負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋（畳数）
想定時間	1年間の使用日数	東京モデル 冷房6月2日から9月21日までの112日間 暖房10月28日から4月14日までの169日間
	1日の使用時間	冷房 9時間/日 暖房 7時間/日
	1年間の使用時間	冷房：1,008時間/年 暖房：1,183時間/年

お客さまご相談窓口

■ まずはお買いあげの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買いあげの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談〈三洋電機株式会社 お客さまセンター〉

受付時間：(365日) 9：00～18：30 | 総合相談窓口 | 050-3116-3434

※上記番号をご利用できない場合は **大阪 (06) 6994-9570** におかけください。
※郵便またはFAXでご相談される場合

三洋電機株式会社 お客さまセンター 〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX：大阪 (06) 6994-9510

家電商品の修理サービスについてのご相談〈三洋電機サービス株式会社〉

受付時間：月曜日 ～ 金曜日 9:00 ～ 18:30 (7月~8月) 8:45 ～ 19:30
土曜・日曜・祝日・当社休日 9:00 ～ 17:30

修理相談窓口	東コールセンター (050-がご利用できない場合は、東京03-5302-3401へおかけください)	北海道地区		050-3116-2333
		東北地区		050-3116-2444
		関東・甲信越地区		050-3116-2222
	西コールセンター (050-がご利用できない場合は、大阪06-4250-8400へおかけください)	近畿地区		050-3116-2555
		中部・北陸地区	北陸	050-3116-2555
			中部	050-3116-2666 沼津地区は、050-3116-2222
		中国・四国地区	中国	050-3116-2777
			四国	050-3116-2555
		九州地区		050-3116-2888
	沖縄地区			098-944-5018

(※)沖縄地区の受付時間：月曜日 ～ 土曜日 9:00 ～ 17:30（日曜、祝日および当社休日を除く）

持込み修理および部品についてのご相談〈三洋電機サービス株式会社〉

受付時間：月曜日～土曜日 9：00～17：30（日曜、祝日、当社休日を除く）

家電商品の持込み修理および部品のご相談については、各地区拠点（サービスセンター、サービスステーション）で承っております。もよりの拠点は別紙の一覧表、もしくは弊社ホームページでご確認ください。

■上記のご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。
また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

<利用目的> ●お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合> ●上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は ホームページ http://www.sanyo.co.jp をご覧ください。

愛情点検 | ●長年ご使用のエアコンの点検を！

こんな症状はありませんか

- ●電源プラグやコードが異常に熱い。
- ●電源プラグが変色している。
- ●焦げくさいにおいがする。
- ●ブレーカーが頻繁に落ちる。
- ●運転音が異常に高くなった。
- ●エアコンに触れるとピリピリと電気を感じる。
- ●水漏れがある。
- ●架台の吊下げ等の取付部品が腐食、ゆるんでいる。

使用を中止してください。
故障や事故防止のため電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

三洋電機株式会社 CMカンパニー 空調事業部

〒370-0596 群馬県邑楽郡大泉町坂田1丁目1番1号

住所は変更することがありますのでご了承ください。
この商品は海外では使用できません。(FOR USE IN JAPAN ONLY)

85264181030005